

令和2年8月27日

学生および保護者の皆さま

明治薬科大学

学長 越前 宏俊

教務委員長 兎川 忠靖

後期の授業について

令和2年の前期教育は首都圏における新型コロナウイルス感染症と緊急事態宣言発出により学生・教職員の健康を第一に考え、講義は全てオンライン形式とし、学内実習も3密を避ける条件で分散・時間短縮のもとで実施しました。特に、新入生の皆さんの中には、集合形式では新入生オリエンテーションができず、6月末の実習時に初めてキャンパスに入校した方も多かった状況でした。7月には学生・教職員ともに感染症対策を厳に守ってくださったおかげで、事前実務技能体験実習を含む前期の実習を無事終了することが出来ました。

新型コロナウイルスの新規感染者数は、緊急事態宣言実施後には大きく減少したものの、経済活動再開と共に再上昇し、現時点の判断では、後期においても安全に集合形式での授業を開始できる状況にはないと思われまます。そのため、これまで予告しておりましたように、学生及びご家族の方々の健康を第一に考え、後期の授業も原則としてオンライン形式で実施します。しかし、前期と同様に実習・演習科目については、検温結果のオンライン申告、入構時のサーモグラフィチェックと手指アルコール消毒体制等、大学として万全な感染症対策を講じ、かつ3つの密を避ける条件で実施します。

後期の教育においても教職員一同は、学生及びご家族の健康を第一に考えながら、新しい日常と大学教育を創り出すためにこれまで通り努力いたします。新型コロナウイルス感染症が終息しない中での経済活動制限の緩和と同様に、校内での実習実施に関しては様々なご意見がある事は理解しております。事情により欠席する学生さんに対しては不利益にならない配慮をいたします。本学は、教育内容に関する大学の考えを、HPを通じて公開し、説明責任を果たしながら実施して参りますので、どうか理解をいただくようお願い申し上げます。

後期の学事日程については、大学HP等でお知らせします。また、後期の実習予定などについては、9月14日までに教務課からMY-CASTを通じて履修学生に連絡する予定です。なお、今後の感染状況の変化に応じて、授業形態を変更する可能性があります。その際は、大学ホームページや学生ポータルでお知らせいたしますので、定期的に確認してください。

以上